

広報紙で振り返る まちのまつり

取り上げるまつり

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、まつりの開催を中止せざるを得ない状況にあります。まつりというのは、会場での賑わいや笑顔溢れる雰囲気が醍醐味ではないでしょうか。そこで、少しでもまつりの様子を感じてもらえるように安平町のまつりを紹介したいと思い、この特集を組みました。

早来町（当時）
「かしわまつり」、「どろんこまつり」、
「遠浅グリーンフェスティバル」
追分町（当時）
「メロンまつり（産業まつり）」、
「ワイワイまつり」
安平町
「うまかまつり」

かしわまつり



「かしわまつり」が始まる前は、早来町商工会単独で夏祭りを行っていました。そこから派生したのが、早来町と早来町商工会、早来町農業協同組合の3者が協賛し、昭和56年から「かしわまつり」が誕生。「かしわまつり」という名前は、町の木であった“かしわ”から当時の町長 柴田勝治氏が名付けました。

どんぐり焼やポニー乗馬をはじめ、他にも夜空を飾る花火大会を満喫するなど、多くの来場者が足を運び、楽しい2日間を過ごされていたのではないのでしょうか。

また、自治会対抗綱引きが第2回から新しく増え、どの自治会の皆さんも気合いが入っていたようです。



やはりポニーは人気者

◀ポニー乗馬
昭和62年
広報はやきた7月号



丸太割り



卵投げ



丸太切り

◀ギネスに挑戦
昭和63年
広報はやきた7月号



自治会対抗綱引き
昭和62年
広報はやきた7月号



人カローラー



平成4年
広報はやきた8月号
平成2年の第10回目に
新企画として登場



すずらん太鼓
平成3年
広報はやきた7月号



よさこいツラン
平成15年広報はやきた8月号